

スクールミュージアム

「スクール・ミュージアム」事業は、小中高生を対象に、財団が美術館の入館料とバス代の大部分を助成してくれる事業です。5月20日、抽選で選ばれた立石小の4・5年生は、貸切バスで県立美術館に芸術鑑賞に行きました。



この日は、鬼塚勝也さんの個展が開かれていた日で、立石小4・5年生が来ること知った鬼塚さんは、子どもたちに話をするために、わざわざ美術館にやって来てくださいました。ちなみに、鬼塚勝也さんは、元ボクサーで、スーパーフライ級の世界チャンピオンだった方です。今は、アーティストとして活躍されています。

子どもたちは、館内の作品をじっくりと見て回った後、鬼塚さんからボクサー時代や現在のアーティスト活動についての話を聞きました。「何でも聞いていいよ」と言われた子どもたちは、次々に手を上げ、ボクサーや画家になったきっかけ、作品の制作の仕方、制作活動の難しさや楽しさについて質問して、それぞれに対して鬼塚さんは、熱心かつ丁寧に話をしていただきました。とても貴重な体験ができた立石小4・5年生でした。

5年生「くろつちとともに生きる」

今、5年生は総合的な学習の時間で、「くろつちとともに生きる」というテーマで、立石校区の農業、植木業の仕事や歴史について調べたり体験したりしています。



赤土池の見学



今隈の田籠さんのお宅で農機具見学



ダムからの取水路の吐水口見学

先々週の金曜日は、市の埋蔵文化財調査センターの職員さんの案内で、今隈、花立、干潟を中心に校区内をまわり、農業用池、農業従事者のお宅、植木畑、ビニルハウスを見て回りました。立石は、ほとんどが田畑や植木畑であるにもかかわらず、5年生でも大人が考えている以上に地域の産業のことを知らないようで、説明を聞いた子どもたちは、驚いたりメモをとったりしていました。

全国体力テストの結果

4月、5月の体育の時間には、全学年とも「新体力テスト」を行いました。



1年生長座体前屈のテスト

テストの結果、立石小の子どもたちは、ほとんどの種目で福岡県平均を大きく上回っていました。平均値な



混んでいる昼休みの運動

ので、すべての児童があてはまるわけではありませんが、およそ立石小の子どもたちは十分な体力が身に付いていることがわかりました。これは、毎日の登下校で長い距離を歩いている児童が多いこと、中休みや昼休みに外でしっかり遊んでいる児童が多いからではないかと思っています。

新しい道徳の授業

道徳の授業では、読み物資料や映像の中の登場人物の気持ちや行動について考え、それをクラスの友だちと交流したり比べたりしながら道徳性を養っていきます。そのため、意見を発表する場面が不可欠です。でも、6年生の道徳の授業では、発表の代わりにタブレット端末を使った交流が行われています。

タブレットを使うと、それぞれが書いた考えのカード（プリントのようなもの）を集めて表示することができ、画面の中のカードは、簡単に拡大して見ることができるので、短時間に何人もの友だちの考えを読む（知る）ことができます。考えを読んで、もっと詳しく聞きたい、理由を知りたい…となれば、その友だちのところに行って、直接、聞くという方法です。小柳先生は、この方法を昨年度の長期研修の中で研究していて、それを立石小でもやってくれています。

青少年育成部会の校区花壇

学校の南側、道路と赤土池に挟まれた場所に、青少年育成部会の校区花壇があります。校区花壇は、行政区ごとに順番で、青少年育成部会の委員さんを中心に土づくり、花植え、手入れをしたりしていただいています。おかげできれいな花を見ることが出来ます。



《今後の予定》

5月	20日(火)	1・2・3年内科検診
		4・5年生校外学習(スクールミュージアム) ※要弁当
	21日(水)	1年生心電図検査、検尿(2次 抽出者対象)
	26日~	家庭訪問
	31日(土)	なわとび集会、PTA美化作業